



## 白内障患者のための意思決定ガイド

### A Decision-Making Guide for Patients Diagnosed with Cataract(s)

#### 白内障とは何か？

目の水晶体は、通常何年もの間、透き通っています。白内障になると、水晶体が濁ります。ほとんどの人は、年齢を重ねるとともに、白内障になり、両目に白内障を発症します。片目の症状がもう一方の目より悪い場合があります。

白内障を持つほとんどの人は、日常活動(読書など)に支障を感じます。一部の白内障患者には、法的に運転の条件を満たさなくなった場合でさえ、白内障に慣れ、視力の変化に気付かない場合があります。

白内障はゆっくり進行し、急激に視力が変化することはありません。すぐに手術する必要はないかもしれません。メガネを変えたり、拡大鏡や追加のライトを使用することで、よりよく見えるようになる場合があります。医師は、手術による効果があることを助言する場合があります。その時点で、手術を検討する必要があり、先延ばしにするのはよくない場合があります。

#### どんな症状が出るのか？

白内障の一般的な症状には以下が含まれます：

- ぼやける、もやがかかる、かすむ、曇る、鮮明でない、またはぼんやりする視界
- 夜のヘッドライトが明るすぎる
- 太陽の日差しがまぶしく感じる
- 小さい活字が読みにくくなる
- 薄明かりで見えにくい
- 色の見え方の変化がでる

- 影のイメージによって「ダブって」見える

#### 白内障はどのように除去されるのか？

白内障手術は、入院を必要としない「日帰り手術」です。目を麻痺させるために局所麻酔を使って手術は行われます。ほとんどの患者は全身麻酔を必要としません。

不安を感じる方には、鎮静剤が用意される場合があります。手術後、誰かに家まで送ってもらう必要があり、点眼薬や運転の手助けが必要となる場合があります。両目に白内障手術が必要な場合は、通常、2つの手術の間に時間をおきます。

手術では、眼科医は白内障を伴う天然の水晶体を小さな切開部から取り除き、その代わりに永続的に残る人工レンズ (IOL) と交換します。

利用可能な人工レンズ (IOL) には多くの種類があります。MSP に覆われたレンズは、大多数の患者が、十分に満足できる視力矯正を提供します。

手術後は通常、近視および、場合によっては遠視のため、メガネが必要になります。

MSP で覆われていないレンズの場合、眼鏡着用が不要となる場合があります。ただし、これらのレンズは、個々の適合性や副作用により、すべての患者に適しているとは限りません。ご自身の外科医とさまざまなオプションについて相談してください。

## どのように回復するのか？

- 白内障手術を受けたほとんどの患者は、以前よりも視力が回復します。ただし、ほとんどの患者が完全に回復し、適応するには、最長数週間かかることがあります。
- 患者のほとんどは、手術中および手術後にわずかな不快感を伝えています。一般的に、深刻な問題が発生することはありません。
- 場合によっては、手術後(数週間から数年後)に新しい人工レンズの裏側が曇ることがありますが、これは簡単なレーザー手術で治療できます。
- 手術後は通常、目の乾燥、刺激、および過敏症を感じます。この症状を和らげるために、潤滑用点眼剤を使用する必要があるかもしれません。

## どのような症状があり、いつ医師に連絡する必要があるのか？

### 予想される症状:

- 手術後 24 時間以内
  - かすみ目
  - 軽度の赤み
  - 目の中に「砂が入った」感覚
- 手術後 24 時間から 1 週間
  - より良い視力
  - 軽度の赤み
  - 痛みや「砂が入った」感覚が減る
- 手術後 1 週間から数ヶ月
  - 新しい眼鏡の最終処方箋(必要な場合)

### 下記に当てはまる場合、かかりつけ医にお電話ください：

- 手術後 24 時間以内
  - 非常にひどい目の痛みや頭痛

- 吐き気/嘔吐
- 手術後 24 時間から 1 週間
  - 非常にひどい目の痛み
  - 赤みの悪化
  - 視力の低下
  - 閃光または多数の浮遊物が見える
- 手術後 1 週間から数ヶ月
  - 視力の低下

## まとめ

- 白内障手術は一般的で、安全、最小限の痛みですみ、効果的です。
- リスクがゼロの手術はありません、そのため外科医はすべてのリスクと手術による効果を事前に確認します。
- 視力によって、日常の活動(読書やコンピューターの使用など)に問題が出た場合、または運転免許条件を維持のために視力を改善したい場合は、白内障手術を受けることを検討する必要があります。白内障手術を受けることで、安全性、自信、独立性を高めることができます。
- あなたの視覚障害があなたの生活にどのように影響したかを必ず医師と相談してください。



ヘルスリンクBCファイルのトピックスに関しては、[www.HealthLinkBC.ca/healthfiles](http://www.HealthLinkBC.ca/healthfiles)をご覧ください。最寄りの公衆衛生機関をお尋ねください。緊急を要しないBC州における健康情報および助言については、[www.HealthLinkBC.ca](http://www.HealthLinkBC.ca) をご覧ください。8-1-1(フリーダイヤル)までお電話ください。耳が不自由な方、難聴の方は、7-1-1までお電話ください。ご希望により、130以上の言語で翻訳サービスがご利用いただけます。